

[029_05/06] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4403413>

出版情報：経済学研究. 29 (5/6), 1964-02-25. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：



序

ささやかではあるが、やっとこの論文集を刊行して栗村教授の還暦を記念することができるようになった。

われわれが教授の還暦をお祝いしてからすでに四年半、教授はすでに定年で本学を退かれて名誉教授の地位にあられる。教授はわれわれの学部の前身である法文学部経済科の第二回の卒業生である。卒業後研究室に入れ、講師、助教授を経て昭和十五年教授として経済学原論の講座を担当されることになった。教授がその在任中、教育、研究上あげられた功績は申すにおよばず、学内行政や学界その他でなされた貢献は測りしれないものがある。

学問のとしびに点火することはやさしいが、終生それを燃しつづけることは容易ではない。むしろ至難ともいうべきこのわがが、教授にあつては尋常のこととして行われているようである。草花や樹木への造詣ふかく、日頃土に親しまれてきた教授の心身はいたって強健のようにお見受けする。燈火はいつまでも燃えつづけるにちがいない。

われわれの還暦記念論文集は教官の全員が執筆するのがこれまでのならわしであつたが、方針に変更があつて、全員の名前を連ねることがかなわなくなったことをお断りしなければならない。また本来ならもっと早く、できれば還暦のお祝いのときこれを刊行して差し上げるべきであつたのが、こんなにおくれてしまったことをお詫びしなければならない。教授の今日のご健康とご活躍をお慶びするとともに今後のそれを心からお祈りする次第である。

昭和三十九年三月

九州大学経済学会長

副 田 満 輝